

ぎのわんの歴史・文化遺産を歩く 其の12

「キャンプ瑞慶覧⑤」

はじめに 今回は、昨年十一月よりキャンプ瑞慶覧の斜面緑地を中心に行っている、文化財の現状などを把握する調査で確認されたことについて紹介します。

産」として確認されている湧泉は、現在のところ喜友名七カの一つであるバシガ一のみで、湧泉本体やその周辺の石積などがほぼ完全な状態で残っています。湧水を導く樋から水の流れはありませんが、湧泉前方は湿地で棚田跡が広がっていることから、地域の方々に教えて頂いた戦前の風景を連想することができます。

また、湧水を導く樋の湧口の上部には香炉が安置され、その隣に石で造られた獅子の頭が石積みで埋め込まれた状態で確認されました。喜友名集落内には、沖縄県内で最も多くの石獅子が現在残されていますが、なぜ集落から遠いバシガに石獅子の頭があるのか、まだわかりません。

おわりに キャンプ瑞慶覧の文化財調査は継続して行う予定です。今後も市民・地域の方々に戦前の様子などを教えて頂きたいと思しますので、ご協力宜しくお願ひします。

問合せ 文化課 ☎89314430



戦前バシガ(イメージスケッチ)



現在のバシガ(北方より)



湧口上部の香炉と石獅子の頭

茶ぐわーゆんたく

119

すこやかな成長を願って

子どもの誕生と成長を祝う行事として「カーウリー(産泉降り)」「ウバギーマー(産飯)」「チージキー(命名)」「ウワーミシ(豚見せ)」「ハチアッチー(初歩き)」「クヌカン(9か月と9日)」など、さまざまなものがあります。今では見られなくなりましたが、「タンカーユーエー」はにぎやかに行われている行事の一つといえるでしょう。

タンカーユーエーとは、子どもが満1歳の誕生日を迎えた時に行うお祝いのことです。赤飯やごちそうを仏壇やヒヌカン(火の神)に供え、子どもの成長を感謝し、これからの健康を祈ります。

そして、そのあとがメインイベントです！お祝いに集まった親戚や友人たちが見守るなか、子どもの前に色々なものを並べ、それらの中からどれを選ぶかで、将来を占い、みんなで祝福します。並べるものは、親の期待を込めたもので、赤飯・筆・硯・本・そろばん・お金などです。子どもが選んだものは母親が受け取り、残ったものから

も次々と選ばせます。それぞれに意味があり、赤飯を選べば、クエーブー(食運に恵まれ、食べ物に困らない)になるとされ、筆・硯・本などを選べば、リキヤー(頭の良い

子)になるとされました。また、そろばんやお金を選べば、ジンモーキヤー(金持ち)になるといって、集まった人たちと一緒に喜びました。女の子の場合には、裁縫上手になるようにと、物差しやはさみなども加えたりします。

たいていの子どもは、色あざやかな赤飯を最初に選ぶことが多いようですが、それ以外を選んだ場合には、「どこそこの子どもは本を先に選んだ」という風で噂されたそうです。



▲電卓や楽器なども加え、親の期待満載！

時代は変わっても、親が子どもを思う気持ちは変わらないと感じさせる行事の一つです。

※『宜野湾市史 第5巻 資料編4 民俗』に今回の産育儀礼や、その他の人生儀礼についても詳しく掲載しております。近代のジノンチュ(宜野湾人の生活様式の記録をぜひご覧ください。

販売2,100円もしております！

「宜野湾市史」への問合せ
文化課 市史編集係(市立博物館内)

☎87009317